

# 一般市民を対象にした「緩和ケア」に関する認識度調査

(平成20年度調査)

## 報 告 書

平成21年3月

**NPO法人 日本緩和医療学会**

厚生労働省委託事業「緩和ケア普及啓発事業 Orange Balloon Project」



# 報告書目次

I 調査の概要	1
II-1 調査結果の概要（郵送調査用）	9
1 あなたご自身のことについて	10
(1) 自分自身のがんの経験の有無	10
(1) - 1 一番最初のがんと診断された時期	12
(1) - 2 がんによる痛みなどの症状の緩和治療の有無	13
(2) 現在の通院状況	14
(3) 医療職・非医療職別	16
2 あなたのご家族について	18
(1) 家族の中のがん経験者の有無	18
(1) - 1 家族の中のがん経験者との関係	20
(1) - 2 家族の中のがん経験者／がんによる痛みなどの症状の緩和治療の有無	22
3 緩和ケアについて	24
(1) 「緩和ケア」という言葉の認知	24
(1) - 1 「緩和ケア」という言葉の最初の認知経路	27
(2) 「緩和ケア」を受ける時期の認識	30
(3) 居住地にある「緩和ケア」が受けられる場所の認知	33
(3) - 1 「緩和ケア」が受けられると思う場所	36
(4) 周囲の人の「緩和ケア」という言葉の認知	38
(5) 周囲の人の「緩和ケア」の治療経験の有無	41
4 「緩和ケア」情報について	44
(1) 「緩和ケア」について知りたい情報	44
(2) 「緩和ケア」情報を得るために利用しやすい手段	48
5 医療用麻薬について	52
(1) がんの痛みを和らげるための医療用麻薬の認知	52
(2) 医療用麻薬によるがんの痛みの除去の認知	55
(3) 医療用麻薬によるがんの痛み緩和への抵抗感	58
6 「オレンジバルーンプロジェクト（Orange Balloon Project）」	61
(1) 「オレンジバルーンプロジェクト」の認知	61
(1) - 1 「オレンジバルーンプロジェクト」の最初の認知経路	64
7 緩和ケアの考え方やイメージについて	65
(1) ア 緩和ケアは身体の痛みだけでなく、心の痛みにも対応する	66
(2) イ 緩和ケアはがんの終末期だけではなく、がんの初期から受けることができる	69

(3) ウ	緩和ケアは病院だけでなく、在宅など地域の中で受けることができる	72
(4) エ	緩和ケアは医療従事者だけでなく、ボランティアなどいろいろな人々の協力を得て行っている	75
(5) オ	緩和ケアで用いられる医療用麻薬は、がんによる慢性疼痛の患者では中毒症状を起こさない	78
(6) カ	緩和ケアを受けることによって寿命が短くなることはない	81
(7) キ	緩和ケアを受けることによって、がんの治療を受けられなくなることはない	84
(8) ク	現在の技術では、がんの痛みの90%は薬剤によってコントロールできると言われている	87
(9) ケ	緩和ケアを受けることによって、睡眠や食事ができるようになり、QOLは改善するとされている	90
<b>8</b>	<b>「オレンジバリュープロジェクト」に期待すること</b>	<b>93</b>
<b>II-2</b>	<b>調査結果の概要（シンポジウム調査用）</b>	<b>97</b>
<b>1</b>	<b>あなたご自身のことについて</b>	<b>98</b>
(1)	自分自身のがんの経験の有無	98
(1) - 1	一番最初のがんと診断された時期	99
(1) - 2	がんによる痛みなどの症状の緩和治療の有無	100
(2)	現在の通院状況	101
(3)	医療職・非医療職別	102
<b>2</b>	<b>あなたのご家族について</b>	<b>103</b>
(1)	家族の中のがん経験者の有無	103
(1) - 1	家族の中のがん経験者との関係	104
(1) - 2	家族の中のがん経験者／がんによる痛みなどの症状の緩和治療の有無	105
<b>3</b>	<b>緩和ケアについて</b>	<b>106</b>
(1)	「緩和ケア」という言葉の認知	106
(1) - 1	「緩和ケア」という言葉の最初の認知経路	107
(2)	「緩和ケア」を受ける時期の認知	109
(3)	居住地域にある「緩和ケア」が受けられる場所の認知	110
(3) - 1	「緩和ケア」が受けられると思う場所	111
(4)	周囲の人の「緩和ケア」という言葉の認知	112
(5)	周囲の人の「緩和ケア」の治療経験の有無	113
<b>4</b>	<b>「緩和ケア」情報について</b>	<b>114</b>
(1)	「緩和ケア」について知りたい情報	114
(2)	「緩和ケア」情報を得るために利用しやすい手段	116
<b>5</b>	<b>医療用麻薬について</b>	<b>118</b>
(1)	がんの痛みを和らげるための医療用麻薬の認知	118
(2)	医療用麻薬によるがんの痛みの除去の認知	119
(3)	医療用麻薬によるがんの痛み緩和への抵抗感	120

6	「オレンジバルーンプロジェクト（Orange Balloon Project）」	121
	(1) 「オレンジバルーンプロジェクト」の認知	121
	(1) - 1 「オレンジバルーンプロジェクト」の最初の認知経路	122
7	緩和ケアの考え方やイメージについて	123
	(1) ア 緩和ケアは身体の痛みだけでなく、心の痛みにも対応する	124
	(2) イ 緩和ケアはがんの終末期だけではなく、がんの初期から受けることができる	125
	(3) ウ 緩和ケアは病院だけでなく、在宅など地域の中で受けることができる	126
	(4) エ 緩和ケアは医療従事者だけでなく、ボランティアなどいろいろな人々の 協力を得て行っている	127
	(5) オ 緩和ケアで用いられる医療用麻薬は、がんによる慢性疼痛の患者では 中毒症状を起こさない	128
	(6) カ 緩和ケアを受けることによって寿命が短くなることはない	129
	(7) キ 緩和ケアを受けることによって、がんの治療を受けられなくなることはない	130
	(8) ク 現在の技術では、がんの痛みの90%は薬剤によってコントロール できると言われている	131
	(9) ケ 緩和ケアを受けることによって、睡眠や食事ができるようになり、 QOLは改善するとされている	132
8	「オレンジバルーンプロジェクト」に期待すること	133
Ⅲ-1	自由回答一覧（郵送調査）	139
Ⅲ-2	自由回答一覧（シンポジウム調査）	178
Ⅳ-1	調査票（郵送調査用／単純集計結果付）	219
Ⅳ-2	調査票（シンポジウム調査用／単純集計結果付）	226
Ⅴ	2008年度メンバー紹介	234